

「祈りと教会の発展」

アブラハムとダビデに続き、今回は新約に生きた主の弟子たちについて学びます。「聖霊行伝」ともいわれる「使徒の働き」の中で、主の弟子使徒たちを見ると、いかに聖霊が働かれたかがわかります。

主イエス様が昇天された後、祈り待ち望んでいた弟子たちにペンテコステ・聖霊降臨が与えられ、そこから教会が誕生しました。全て、祈りが土台となっていたのです。

今日の聖書の学びの要点

- ・ご聖霊が臨まれることによって、私たちは変えられることが出来ます。
弟子たちのように十字架により罪を赦して下さった主イエスの約束を信じて、
祈りつつご聖霊を待ち望み、ご聖霊により祈りの人に変えられたい。

I、祈るしかない

1、主イエス様が昇天された直後の弟子たちの様子を振り返ってみましょう。

- ① 復活し、昇天される前、主イエスは何と言い残されたのでしょうか。

(使徒 1:4)

- ② 弟子たちにとって、主が言われた事に従う事は簡単なことではありませんでした。どのような問題があったのでしょうか？

- ・エルサレムに残ることの危険性
- ・頼りにしていた主イエス様はいない。将来の希望はない。

- ③ 祈る以外に方法はないが、祈り始めると 11 人が 120 人に増えました。彼らは心を合わせ祈りましたが、そのためには、どのような交わりがあったのでしょうか。

Ⅱ、3 千人が加えられる

1、聖霊が臨まれることによって、大きな変化が弟子たちに起きました。中心的働きを成した、ペテロの心の姿をみましょう。

- ① 主イエスが十字架に架けられる前、彼はどのような人でしたか？
- ② ペンテコステの日、彼が話をした後、聞いていた人々にどのようなことが起きましか。聖霊はペテロを用いてどのようなことを成されましたか。
 - ・人々は心をさされて、使徒 2：37 というようになった。
 - ・ペテロは適切な指示を与え、使徒 2：38 と言っている。
- ③ 人を悔改めに導くためには、ペテロにも明確な悔改めがなければなりません。聖書にはありませんが、彼はいつ悔い改めたか想像してみましょう。

2、その日 3 千人の人がバプテスマを受け、主の弟子となりましたが、パニックになることもなく、対処できました。

- ① 使徒 2：42：
- ② 使徒 2：43：

Ⅲ、弟子たちを愛し、期待される主

1、主イエスは必ず聖霊が与えられると弟子たちに約束されましたが、主が弟子たちに求められたのは何だったのでしょうか。

- ①エルサレムを離れない。
- ②約束を信じて祈る。